

2024 年度 フェリス女学院大学 一般入学試験 C 日程
小論文 出題の意図

【文学部英語英米文学科】

イギリス・アメリカ・英語に関する短めの文章（日本語）について、

- (1) それを理解し過不足なく適切に要約すること、
- (2) 自分の意見やその根拠を述べること、
- (3) 正確な日本語で自分の考えを明確に伝えること、

がそれぞれできるかどうかを評価するための問題を作成した。

文章は文学・現代英米社会・英語運用という複数のテーマで用意し、受験者が得意な分野で力を発揮できるようにした。

【文学部日本語日本文学科】

- ・ 現在前景化されている社会・文化事象について、日頃関心を持っているかどうかをみる。
- ・ 選択したテーマについて、どれほどの情報を持っているかをみる。
- ・ 論理的筋道をたどって、明確な結論を示しているかどうかをみる。
- ・ 日本語を適切に用いた表現・表記であるとともに、原稿用紙の使い方を守っているかどうかをみる。

全体として所謂「国語」の力を見る問題ではなく、客観的な材料をもとに論理的な展開をし、説得力のある論が展開できるかを問う。

【国際交流学部国際交流学科】

本試験では、時事的なテーマに関する問題文を読み、その論点を要約したうえで自分の考えを論述する。問題文の内容は本学科の特徴を反映したものであるが、高校での学習レベルを十分に配慮しているため、高度な専門知識を要求するものではない。本試験で特に重視されるのは次の二点である。

第一に、特定のテーマについて相反する立場（肯定／否定など）から書かれた二つの文章を読み、それぞれの論点を正しく要約すること。大学における学びの目的の一つは、これまでに刷り込まれてしまった思い込み、社会に広まっている偏見、自身の経験だけに基づく一方的なものを見方を相対化し修正していくことにある。そこで本試験では、問題文の内容を正しく理解し、その文中で述べられていないことを思い込みで記述することなく、的確に要約できているかを確認する。

第二に、上で要約した論点を踏まえて自分の考えを論理的に述べること。大学の学びにおいて必要となるのは、授業の説明や資料の内容を鵜呑みにすることではなく、適切な用語や概念を駆使してそれらを批評し、自分の考えを論理的に示すことである。そのため、本試験では、問題文の内容を正しく理解するだけでなく、それを踏まえて自分の考えを論述できているかを確認する。

以上の二点の力が備わっている受験生は、本学科に入学した後も、深い探究をすることができるだろう。